

すずめの子
そのけそのけ
お馬が通る

閑さや
岩にしみ入る
蟬の声

自然を想う俳句の世界

柿食べば
鐘が鳴るなり
法隆寺

美しう
昔をさくや
冬ばたん

五・七・五、たった十七字の中に季節を表す言葉を必ず入れ、目の前の情景やそのとき感じたことを詩にする俳句。世界で一番短い詩と言われる俳句には、日本人の自然観・美意識が凝縮されています。自然観察の楽しみ方の一つに「俳句を詠む」を取り入れてみてはいかがでしょうか。今回のNカレは日本の自然と俳句との関係について、皆さんと一緒に学びます。

◆シリーズ 102 「俳句の世界」について学ぶ全 1 回コース◆

2022/1/27 (木)

18:30 - 20:00

オンラインセミナー

自然を想う 俳句の世界

講師：高柳 克弘（俳句雑誌『鷹』編集長）

※「NACS-J 市民カレッジ（略称：N カレ）」は、日本自然保護協会（NACS-J）に集う各分野のスペシャリストが講師を務めるオープンカレッジです。

■共 催：三菱商事株式会社

■形 式：オンラインセミナー

※ zoom ウェビナーを利用します。参加方法の詳細いご案内は、お申し込み後にお送りいたします。

■対 象：どなたでもご参加いただけます

■定 員：150 名 ※先着順。最少開講人数 10 名

■参加費：無料

※どなたでも無料で受講いただけます。

■申込先：以下 WEB フォームよりお申込みください。または E-mail で①お名前、②所属、③メールアドレス、④会員が否か（個人会員の方は会員番号）をお知らせください。

講師紹介

たかなぎ かつひろ

高柳 克弘

俳句雑誌『鷹』編集長、
早稲田大学講師



1980 年、静岡県生まれ。早稲田大学教育学研究科博士前期課程修了。専門は芭蕉の発句表現。第 19 回俳句研究賞、第 22 回俳人協会評論新人賞など数々の賞を受賞。E テレ「NHK 俳句」（2017 年度）、読売新聞朝刊「KODOMO 俳句」、全国高等学校俳句選手権大会の選者を務める。第一句集『未踏』、第二句集『寒林』（ともにふらんす堂）。著書『究極の俳句』（中央公論社）『そらのことばが降ってくる』（ポプラ社）など。

< URL > <https://bit.ly/33sYGQT>

< TEL > 03-3553-4101 < E-mail > n-college@nacsj.or.jp

日本自然保護協会（NACS-J）N カレ担当